

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **711** January 2018

Special Issue : Assessing the Child Poverty based on Experiences from EU and Japan

- Introduction to the Special IssueHARA Nobuko
 The Problem of Child Poverty in the European Union
 Mary DALY/HARA Nobuko
 Single Mothers, Welfare Reform, and Poverty in Japan
 EZAWA Aya/SUZUKI Akira
 The Problem of Child Poverty in Japan.....FUJIWARA Chisa

Article

- What are "Honored Disabled Veterans"?
MATSUDA Eri

Lecture

- About Conservation of *Suihei Shinbun* Owned by
 Ohara Institute for Social Research.....NAKAMURA Mika

Book Reviews

- HONDA Kazunari, *Labour-Management Relations in Chain Store in Industry*
ASAMI Kazuhiko
 Iain Gately, *Rush Hour : How 500Million Commuters Survive the Daily Journey
 to Work* SATO Tomochika

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

- Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
 web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
 e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,000円(本体926円)
 年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

711 2018.1

【特集】子どもの貧困を問う——日本とEUの経験から

- 特集にあたって 原 伸子 1
 EUにおける「子どもの貧困」問題 メアリ・デイリー/原 伸子 訳 6
 日本におけるシングルマザー, 福祉改革, 貧困 江沢あや/鈴木 玲 訳 19
 日本における「子どもの貧困」問題 藤原千沙 33

■論文

- 「名誉の負傷者」とは何か——「癩兵」にみる名誉性の保持と抑圧
 松田英里 51

■資料紹介

- 大原社会問題研究所所蔵『水平新聞』について
 ——修復・保存・公開 中村美香 64

■書評と紹介

- 本田一成著『チェーンストアの労使関係』 浅見和彦 85
 イアン・ゲートリー著/黒川由美訳『通勤の社会史』 佐藤伴近 90

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所 94

月例研究会 96

所 報 2017年9月

発 行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1
 TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2017年版 第87集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
 <特集1> 子どもの貧困対策
 —制度化の経緯と今後の課題
 <特集2> 運輸産業の安全と労働問題
 —貸切バス事業を中心に

- 第1部 労働経済と労働者生活
 第2部 経営労務と労使関係
 第3部 労働組合の組織と運動
 第4部 労働組合と政治社会運動
 第5部 労働・社会政策

<付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

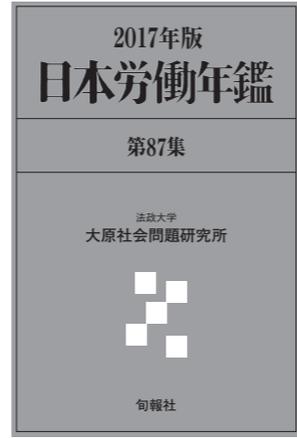
ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
 アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
 します

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
 A5判・上製

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
 電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.690 2018年1月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

特集「格差と労働」

- | | | |
|-----------|---|--|
| ■提言 | 好みと賃金格差 | 大竹 文雄 |
| ■論文 | 所得格差の要因と2010年代における動向
管理職への到達をめぐる不平等——世代間移動と職業キャリアの視点から
不平等と主観的ウェルビーイング
人口構造の変化と経済格差
ネットワークと階層性
労働法における「格差」とその「救済」
——パートタイム労働法と労働契約法20条の解釈を素材に | 石井 加代子
竹ノ下 弘久
浦川 邦夫
白波瀬佐和子
石田 光規 |
| ■労働政策の展望 | 労基法労働時間法制からの脱却を | 神吉 知郁子
毛塚 勝利 |
| ■書評 | 三井正信著『フランス労働契約理論の研究』 | 細川 良 |
| ■読書ノート | 玄田有史編『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』 | 猪木 武徳 |
| ■論文Today | 顧客に対する「演技疲れ」の緩和——緩和方略としての援助行動 | 松下 将章 |
| ■フィールド・アイ | 転職市場に見る日米労働市場の違い (ワシントン DC より①) | 宮本 弘暁 |

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
 ☎03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2017年12月号
 72巻12号

12

定価 1,200円(税込)
 年間購読 12,000円(税込)

【特集】地域・職域における自然災害対策

- ◆巻頭言：事業継続計画策定の意義から考える…福成雄三
- ◆防災・復興と災害に強い地域コミュニティづくり…大矢根淳
- ◆自然災害時における要配慮者支援のあり方…小原真理子
- ◆豪雨災害の避難問題と防災・減災対策の課題…申 紅仙
- ◆火山活動の現況と火山噴火時の健康対策…石峯康浩
- ◆雲仙普賢岳噴火災害下の自治体職員と被災住民の安全と健康を守る…松下英爾
- ◆被災後の仮設住宅、災害公営住宅の現状と課題…狩野 徹

- ◆労研アーカイブを読む・34 作業の評価から職務の評価へ・2 労働のエネルギー代謝に関する研究とその現代的意義(その2)…岸田孝弥
- ◆今後の局所排気装置の技術およびメーカーの復活と活用の促進のために・1(短期連載)…小野宏逸
- ◆につぼん仕事唄考・51 炭鉱仕事が生んだ唄たち(その51) 戦争と「社員慰安歌」②…前田和男
- ◆織という表現・12 …阿久津光子
- ◆口絵：CSRがつなぐ地域社会と中小企業・48 さいたま市CSRチャレンジ企業認証企業…株式会社アイオプト

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
 TEL: 03-6447-1435 (事業部) FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/